

SEIGAIHA

新潟産業大学報 青海波

NIIGATA SANGYO UNIVERSITY

2021 vol.34

特集 ネットの大学 managara 1

- CAMPUS TOPICS 3
- クラブ・サークル活動 4
- 授業紹介 5
- 図書館だより 6
- キャリアサポート 7
- 地域とのつながり 9
- INFORMATION 11



新潟産業大学
NIIGATA SANGYO UNIVERSITY



ネットの大学managara（経済学部経済経営学科通信教育課程）の設置が文部科学大臣より認可され、令和3年4月に開設します。

ネットの大学「managara（マナガラ）」は、本学の通信教育課程のブランドネームです。キャンパスに通学することなくインターネット上でオンライン授業を履修し、卒業に必要な単位を修得し、学士（経済経営学）の学位を取得できます。
 ※「managara（マナガラ）」は、新潟産業大学通信教育課程の登録商標です。

令和3年4月開設に向けて準備を進めて参りました新潟産業大学経済学部経済経営学科通信教育課程（ネットの大学 managara）の設置が、令和2年10月23日に文部科学大臣より正式に認可されました。通常の申請であれば、8月には認可となるところ、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る文部科学省の審査スケジュールが大幅に遅延し、10月末の認可となりました。

そこに学ぶ意志があるかぎり
 何かを学ぶ ネットの大学
 managaraという提案

学長 星野三喜夫



場所や時間、生活様式など環境や条件を問わず、学ぶ意欲のある多くの方に学修の機会を提供し、社会に貢献する人材を育成すべく、引き続き尽力してまいります。

マナガラ設置にあたりご協力いただきましたみなさまに、心より御礼を申し上げます。

さて、高校生の頃に出会った言葉に「啐啄同時」があります。禅の言葉で「そったくどうじ」と読みます。雛が卵からかえろうとし

て殻を中からつついているその時に、親鳥も外から殻をつついて雛がかえるのを手助けする、親鳥と雛の思いやタイミングが合致することです。

人はさまざまな事情を抱えています。大学に行きたいけれど事情が許さない、そんな人たちが少なからず存在しています。教育の現場に携わる者としてこれを見過ごしたくない。なんとかして学ぶ側の事情に即した学びの環境をつくりたい。出発点はそんな思いからでした。

常識や価値観が日々変化しているこの時代。ここに紹介するネットの大学managaraは、インターネットをフルに活用して、いつでもどこでも、何かをしながら学べる画期的・先端的な学びの

かたちです。大学はどうあるべきか。大学で何をどう学ぶか。私たちはつねに問いかけ、その答えを探しています。そこに学ぶ希望と意志があるかぎり、その学びへの強い情熱に伝えていきたい。私たちのネットの大学managaraはその思いを胸に、みなさまの学ぶ意欲に応えてまいります。

※詳細はmanagaraウェブサイト
 (<https://managara.nsu.ac.jp/>)
 でご確認ください。

Managara マナガラ 7つの特徴

① 通学不要。

スクーリングなしのネット学習で卒業・学士号取得が目指せます。

モバイル開けばそこがキャンパス。スマホはもちろん、パソコンやタブレットで大学を持ち歩こう。いつでもどこでも自分の時間を自由に使う。自分のペースで卒業を目指せます。



② スキマ時間を効率的に活用。

三両立ながら学習を実現します。

講義は基本的に1回10分程度の動画配信。ちょっとした移動時間に、アルバイトの休憩時間に、またスポーツ競技や芸能活動の夢を追いかけるながら、自分のライフスタイル、都合に合わせて学習が進められます。



③ 学ぶ意欲にやさしい学費。

多くの「学びたい」に応えます。

授業料は年間30万円。より多くの方々の学ぶ意欲に応えられるように、通学型の大学よりも抑えた学費に設定しています。



④ 実学志向。

実社会が求める生きた知識、技能が身につきます。

ネットの大学Managaraの学びは、実社会が求める「経済学分野」「経営学分野」の基礎・基本と応用力を養成します。また、授業と同様にオンラインによる資格取得や技能修得のダブルスクール体制も充実しています。



⑤ 教育にテクノロジーを展開。

最新のテクノロジーを駆使した先進的な教育を展開します。

社会で役立つ実践力を磨くために、動画に加えてEdTech^{*1}を活用した実践的な講義を準備しています。オンラインミーティングシステムZoom^{*2}を活用したグループワークやプレゼンテーション、ゲーム^{*2}フィクションを使った経営シミュレーションゲームなど、ネット上でも楽しくしっかり学べます。



⑥ オンライン学生生活。

大学生活のすべてをネットで実現します。

学び方はもちろんのこと、教員・スタッフのサポート体制やSNSを通じた学生同士の交流の場、サークルやイベントへの参加、図書館の利用など、大学生活すべてをオンライン上で実現します。



⑦ オンライン進路支援。

就職&キャリア支援もネット上でしっかりサポートします。

卒業後の進路に向けた各種支援（インターンシップの検索、就職に向けた求人票の閲覧・面接指導など）もすべてネット上でサポートします。また、卒業後も継続してサポートが受けられることも大きな魅力のひとつです。



*1 Edtech(エドテック)とは、Education(教育)とTechnology(テクノロジー)を組み合わせた造語で、教育分野にIT技術を活用してもたらされる教育変革の総称です。

*2 ゲーミフィケーションとは、ゲームの要素や仕組みを他の分野で活用することです。

コロナ禍における学生生活動

令和2年度は、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染が全国規模で広がりを見せ、未だかつてない経験を余儀なくされています。入学式や開学以来1年生全員が1泊2日で仲間づくりを目的に実施している「新入生学外合宿研修」等のイベントも中止せざるを得ませんでした。

これまでの4月なら、キャンパスに学生たちの元気な声が響きわたります。しかし、今年の春は、その声を聞けませんでした。学生とご家族の感染防止を最優先し、新学期の始業を繰り下げて、5月11日からオンラインによる遠隔授業をスタートさせました。一部の実習授業を除き、ほとんどの授業をオンラインで行うこととしたのです。

また、大学構内への入構規制も敷かれ、1年生は期待に胸膨らませキャンパスで仲間と出会い、4年間の大学生活に彩を添える部やサークル活動も叶わない状況となってしまいました。オンライン授業は、録画では

なくリアルタイムでのZoomを使用した授業であったため、学生の反応や生の声は、ダイレクトに担当教員に届きました。従って、今学生たちが何を考え何に対して不安を抱いているのかを遠隔授業を行う中で察知し、その都度対応を図りました。特に、柏崎で一人暮らしをしている学生がストレスを抱えていないかについては、教員や職員が授業やメール、大学ホームページ等でアプローチを行い、不安を払拭するよう努めました。

いつ収束するか分からないコロナ禍の中で、タイムリーに学内における感染対策を講じるため「新型コロナウイルス感染症対策委員会」を新年度早々に設置し、国や新潟県、柏崎市の感染状況を常時把握しながら対応しました。

そのような中、6月3日(水)・10日(水)の2週にわたり、新入生向けにオンラインを利用したクラブ・サークル紹介を実施しました。いつ通学しても活動

がスムーズに行えるようにと学友会が企画したものです。

学友会の進行により、クラブ・サークルの代表者が新入生に対して活動内容や実績、活動時間や場所等を説明し、楽しさや活動の醍醐味などを真剣にアピールしていました。



オンラインによる部・サークル活動

また、7月1日(水)には、平成11年に卒業した本学OBでプロミュージシャンである松井まさみちさんによるオンラインライブを開催しました。母校の学生たちがキャンパスに通学できていない状況にあることを知り、音楽の力で後輩たちを勇気



オンラインライブの様子

づけたいという思いから実現したものです。

松井さんは、自宅のスタジオから全6曲を熱唱し、学生や教職員はリモートで鑑賞しました。この時間ばかりはコロナ禍を忘れ、松井さんの甘い歌声に酔いしれていました。

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、秋学期の授業形態について検討したところ、学生と教員とが対面し学びを深めること、フィールドワークで地域の方々と直接触れ合うことは教育の根幹であり、授業等での理解力を高めることにも繋がり、また、キャンパスにおける時間と空間の中で、先輩や後輩とコミュニケーションを図り絆を深めることは、社会で必要な人間力・実践力・コミュニケーション力を育むなどの理由から、対



学生食堂の様子



教室に入る前は必ず手指消毒をします

面授業を実施することを決定しました。勿論、学内においてコロナ感染症予防対策を徹底することを前提とした決定です。

9月16日(水)に半年遅れの入学式を挙行し、18日(金)から通常授業を実施しました。授業中にソーシャルディスタンスを確保するため、教室への入室も通常定員の半分に減らし、また、玄関や教室前、キャンパス内各所に手指消毒液を設置し、

学生食堂も食事中に飛沫が飛ばないようアクリル板で仕切るなど、感染予防対策を徹底しました。



事務局窓口での様子

キャンパスは、徐々に学生たちの明るい笑顔と笑い声に包まれ、クラブ・サークル活動も監督や顧問の配慮の下、活動を再開することができました。

対面式授業について学生たちの反応は極めて良好で、特に1年生は、「ようやく大学生になれた気分」と笑顔で話してくれています。

常に「新しい生活様式」に沿った教育環境を整備し、これからもコロナ禍の中で、学生たちの活動を見守って参ります。

クラブ・サークル活動

令和2年度 強化指定部大会成績一覧表 (ブロック大会以上抜粋)

クラブ名	大会名	部門・種目および大会出場者名 (学科・学年)	成績
水泳部・男子 (水球部門)	第96回 日本選手権水泳競技大会水球競技	作田健太郎 (院2)、稲場悠介 (経2)	2位
	第96回 日本選手権水泳競技大会水球競技最終予選会	鄭洲和 (院2)、徐康源 (文4)、櫻井倅、中村拳 (経2)、水野楓 (文1)	1回戦
	第96回 日本選手権水泳競技大会水球競技北信越予選会	柏原竜太、雲田大智 (以上経4)、大森史皓、瀧村憲哉、湯ノ口翔太郎 (以上経3年)、中谷透真 (経2)、加藤未来 (文2)、鈴木志門、藤井敬聖 (以上経1)、野口颯汰、今井颯汰 (以上文1)	予選リーグ
	第96回 日本学生選手権水泳競技大会水球競技	新田一景、阿保悠斗、門田拓洋、小川尊、蔭田涉吾、高田勇希、西垣虎太郎 (以上経4)、朝廣開輝、中島アディ (以上経3)、内山雅治、加藤時也 (以上文3)、奥一生、野田一成、山口巧喜 (以上経2)、上出時也 (経1)	ベスト8
	第96回 日本選手権水泳競技大会水球競技最終予選会	山口巧喜 (以上経2)、上出時也 (経1)	ベスト8
水泳部・女子 (水球部門)	第96回 日本選手権水泳競技大会水球競技	宮川華音、井上すず、新藤汐砂、前野理緒 (以上経3)、金桶友香、小浦英莉子、渡邊あかね (以上経2)、山村優明 (経1)、田中真由 (文1)	4位
	第96回 日本学生選手権水泳競技大会水球競技		1回戦
サッカー部	第48回 北信越大学サッカーリーグ	伊東郁哉、小池泰政、鈴木夢弦、中田和希、八幡悠大、山根誠人 (以上経4)、天野楓太、山家唯人 (以上経3)、長田知樹 (文3)、石黒辰之助、岡田佑太、北崎巧、小池錬、小林勇斗、田崎理一、古匠正樹、増田大悟 (以上経2)、安藤隆也、高野怜也、中村蓮、長谷部翔大、樋口魁、本多英人 (以上経1)	1部8位
卓球部		吉井大樹 (経4)	男子シングルス3位
	第68回 秋季北信越学生卓球選手権大会	田代寿幸、吉井大樹 (以上経4)、白井寛之、内藤友成、山崎俊介 (以上経3)、山崎琉優 (文3)、関口柊人、竹前 亮 (以上経2)、風間慶亮、水尻天人 (以上経1)、桃沢恭大 (文1)	男子団体1部3位

院：大学院、経：経済経営学科、文：文化経済学科 の意。

産大の授業

をズーム!

教務のはなし

今回フォーカスする授業は、本学専任教員の
大石先生と黒岩先生です。

高度な専門知識を基に、わかりやすく説明していただきました。

「起業論」

教授 大石 友子

皆さんは起業家と聞いて誰を思い浮かべるでしょうか。

経営の神様と呼ばれた松下幸之助やワコネコヤマトの小倉昌男、現代では孫正義や三木谷浩史さん、海外ではビルゲイツやスティーブジョブズの名前が出てくるかもしれません。

こういった有名な起業家たちも最初から大きな会社の経営者だったわけではなく、もとは皆さんのような学生であったりサラリーマンであったり、と普通の人でした。夢を具現化するために試行錯誤を重ねながら、一つずつステップを上がり、社会に大きな影響力を持つまでになったのです。

私たちの街の中にも小さなお店や事務所が数知れずあります。大小にかかわらず、ビジネスとして展開している中には、創業者の揺るぎないビジョンがそこにはあります。単に利益追求するだけでなく、社会に対して自分は何をしたいのかが必ずあるはずですよ。

「起業論」では、起業がどのような位置づけにあるのか、どのような役割を果たしているのかから始め、さまざまな起業家を例に取り上げながら、実際に起業する際のス

テップやノウハウを学びます。さらに、起業するための資金調達の方法やビジネスモデルの差別化、組織の作り方や人材育成、マーケティング等、幅広い経営の知識を学ぶことにより、起業の神髄であるビジョンや起業家精神を理解していきます。

現代では、世の中の変化するスピードがどんどん速くなっていきます。起業を考えていない人たちにも、時代の変化をいち早くキャッチし必要とされるものを形にしていく、そして自ら考え自ら行動し自ら責任を持つ「起業家精神」が求められています。それぞれが起業家精神を身につけることによって、社会の豊かさや自分らしい生きかたを見つけることに繋がることを期待します。

(写真上) 大石教授による起業論授業の様子。
写真下: 黒岩講師によるマクロ経済学授業の様子



「マクロ経済学を学ぶ」

講師 黒岩 直

「マクロ経済学とはどんな学問なのか」と問われたときに、よく「風が吹けば桶屋

が儲かる」という言葉を引き合いに出すことがあります。風が吹くことで、回りまわって思いもよらぬところに影響が出る、という例えですが、この言葉のように、経済の世界でも思いもよらぬところに影響が及ぶことがあります。例えば今の日本では、金利がとも低いです。このことは、いわゆるデフレとよばれる現象に、影響を及ぼしているのかもしれない。このような経済の間の様々つながりを、明らかにしていく学問がマクロ経済学なのです。

また「木を見て森を見ず」という言葉があります。これはご存じのように、それぞれの木だけを個別に観察しても、森全体のこととは分からない、という意味合いの言葉です。同じように、経済の世界でも、それぞれの個人や企業だけを分析しても、経済全体のこととはあまり判らない場合が多いです。そのため、経済を全体的にとらえる視点が必要になります。マクロ経済学は、そのような大きな視点を提供してくれる学問だといえます。

こうした全体をとらえる視点は、ともしれば見失われたり、軽視されたりしがちです。しかしそれは、ひよっとすると「失われた20年」と言われる日本経済の低迷、あるいはそこから回復が遅れたことと、少し関係してくるのかもしれない。授業を受講する学生の皆さんには、是非とも大きなところから経済を見つめる眼を養ってもらいたいと思います。これからの日本を担う皆さんが、この先、社会に出てそれぞれをの人生を送っていく上で、(直接にというわけではありませんが) マクロ経済学は必ず役に立ちます。経済学を学んで、経済に明るい人になって欲しいと思います。

教務委員長コラム

大学での学びについて

教務委員長 阿部 雅明

本当に大切なものは、なくして初めてその価値に気づくと言われます。新型コロナウイルス禍に直面した私たちも、日頃当然と思っていた事柄の多くが、私たちの生活に欠かせない大切なものであったことに気づかされました。

春学期に緊急措置として本学でも遠隔授業が導入され自宅受講が続いた後、秋学期から対面での授業が再開され再び大学に通うようになった学生にも変化が見られました。

毎年秋に実施されていた学園祭は中止と教職員側では考えていたのですが、学生側の強い要望で、学内関係者のみ小規模での実施が決定されました。私の担当するゼミナール生も、いつもは半ば義務的に学園祭にゼミナールとして参加していたのですが、今年は自分たちから企画を提案してくれ、祝日も大学に集まったり、本当に積極的に準備に取り組んでくれました。

結果的に、コロナ禍第3波が押し寄せ、学園祭実施2日前に(いつ実施できるかわからない)延期が決定され、学生たちには本当に残念な思いをさせてしまいました。かけがえのない学生生活を自分たちで盛り上げようと考え、行動してくれた学生たちを見て、コロナ禍から受けた不安や苦痛以上のものを学生は学び、将来に活かしてくれるのだらうと確信しました。

星野学長の オススメ本

『深く考える力』

田坂広志 / 著

PHP新書 PHP研究所

誰の中にもいる「賢明なもう一人の自分」の存在に気づき、対話することで深く考える力が生まれるとする著者が、その「5つの技法」をやさしく解説しています。読むだけでも深く考える力が身につくオススメ本です。(星野三喜夫)



先生方の オススメの本を 教えてください

Part II

オススメの本は
図書館にもあります
ぜひご利用ください



高橋学部長の オススメ本

『リーダーシップ論
人と組織を動かす能力』
第2版

ジョン・P・コッター 著 /
DIAMOND ハーバード・ビジネス・レ
ビュー編集部 訳 / 黒田由貴子 訳 / 有賀裕子 訳
ダイヤモンド社

環境の変化が著しい今日、難局を乗り越えるための変革リーダーシップが求められています。本書では、この分野の第一人者コッターの研究のエッセンスを学び、変革リーダーシップを理解する手がかりを得られるでしょう。(高橋成夫)

学生にとっての読書(後)

片岡直樹

前号で、学生に読書をすすめる理由に三つあると書いた。二つめは物事を深く粘り強く考えるため。

われわれは少し難しいことを考えるとき、頭のなかで文章を組み立てて考える。「○○○で、○○○だから、○○○になるだろう。しかし○○○のときはどうだろう? いや、○○○という場合もあるから○○○だろうか?。」という具合に。

授業で学生に答えさせ、「その根拠は?」と問うと、「そう思ったから」とか「なんとなく」と答える者が多い。彼らは物事を筋道立てて考える習慣がなく、感情や直感だけで生きているように見える。

社会では感情や直感で判断をして過つことが少なからずある。論理的思考を身につける必要があるが、それには本を読んで考えることが不可欠である。

有史以来、人類の英知は本として後世に伝えられた。経済学だろうが、文学だろうが、歴史学だろうが、科学だろうが、すべてそうだ。要するに本を読まないことは何も学ばないことに等しい。

最後はそもそも論になってしまったが、それが学生に読書をすすめる三つめの理由である。

(経済学部教授・図書館長)



コロナ禍における図書館の取り組み

図書館では、非常事態状況下において、利用者に対してどのようなサービスが出来るかを思索し、次のような対応を行ってまいりました。これまでの取組をまとめてご報告いたします。

本学では、4月23日からのキャンパスへの入校制限に伴い、学生の図書館利用も一時不可となっております。

その際、次のような対応を行いました。

- 文献複写・相互貸借をメールで受付
- 郵送貸出
- 電子書籍への外部アクセスの簡略化
- メールによる資料相談対応 など

秋学期からは対面式授業が始まり、再び学生の館内利用が可能となりました。

感染防止対策として、開館時間や利用者数制限で工夫を行いながら開館することにした。具体的には、次のようなお願いや取り組みを行い、開館しています。

● マスク着用、手指消毒の呼びかけ

館内に消毒液ボトルを設置し、受付カウンターで利用の呼びかけを行っています。

● 時間を区切った開館

約2時間経過毎に図書館を閉め、利用者には15分間ほど一時退館してもらいます。その間に換気を行い、閲覧席や共有する設備(カウンター、検索端末PC、アクリル板、ゲートバー)等の消毒を行っています。

● 受付票の記入

利用者に受付票を記入してもらい、カウンターに提出してもらうことで館内の利用者数の管理を行っています。これにより継続的に密状態を避けることが出来ます。

● 閲覧席の番号指定

席は指定制とし、番号札を受付で利用者へ渡します。席を指定することで、定員管理を徹底し、ソーシャルディスタンスを保っています。

● 電子書籍の拡充

学外からも閲覧が可能のように、学生にはIDとパスワードを付与しています。電子書籍は導入して日が浅い為まだ十分な冊数を有していませんが、春からの通信教育課程の学生の利用も考慮し、少しずつ冊数を増やしている状況です。
※対象は学生・教職員のみとなり、外部の方のご利用はできません。

今後最新の状況に気を配りながら、コロナ禍対応と新しい図書館利用の在り方について考えていきたいと思っております。
(附属図書館スタッフ)



番号のついた閲覧席



閲覧席の番号札
(机用とパソコン用)

一般の方の ご利用について

コロナウイルス感染拡大防止の為、現在、聴講生を除いて一般の方の図書館利用は遠慮していただいております。

再開の時期につきましては、決まり次第、本学ホームページ内図書館のお知らせ、または図書館Twitterアカウントでお知らせいたします。

大変ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

4年生の就職体験談 ～後輩へのメッセージ～



経済経営学科4年 泉 宏紀
(越後交通株 内定)

私は3年生の6月からインターンシップなどに参加し、本格的に就職活動を始めたのは年を越して2月の学内合同企業説明会からでした。前からインターンシップに参加し、就職課やゼミナールの先生に相談をしていました。2月の合同企業説明会で企業を絞ってエントリーをしました。

内定を頂いた越後交通(株)は長岡市に本社を置くバス会社です。乗り合いバスや観光バスの他に幅広い事業をしており、私は乗り合いバス事業部で市民の足となり、地域の生活を豊かにしたいと思い、志望しました。

就職活動で役に立ったことはボランティア活動です。ボランティアに参加して幅広い年齢の人と交流したことで、コミュニケーション力が付きました。最終選考のグループディスカッションや面接では、初対面の人にも自分の考えを話すことができました。

私は家族や友人、就職課の方々の支えのおかげで内定を頂くことができましたと感じています。最終選考前の面接練習は就職課の人に自信がつかず何回もお願いしました。一人で何とかしようと思わずに、誰かに頼ることのできると感じています。



経済経営学科4年 稲田 彩花
(新潟県労働衛生医学協会 内定)

私が初めて就職イベントに参加したのは去年6月の東京での合同説明会でした。その時は、新型コロナウイルス感染症が流行してない時期で説明会も開かれていました。自分のやりたい事が明確になっていなかったため、とにかくいろいろな合説に参加し、特に焦る事もなく過ごしていました。ところが就活解禁と同時にコロナが日本に来てしまい、ほとんどの合説が中止になってしまいました。かろうじて受けていた1社からゆっくり就活を始めましたが、自分のやりたいことが分からないままでした。就職課の職員の方から企業を勧められてもピンとこなくて受け

るのを避けていた時もありました。周りがだんだん内定していくと、自分なんか受かるのか、と考え込む日もありました。しかし、アルバイト等の経験から自己分析を見直し、少しでも気になる企業は積極的に受けていきました。途中何度も挫折そうになりましたが、周囲の方々の応援もあり、諦めずに続けた結果、今の事業所様から内定を頂くことができました、とても嬉しかったです。親もとても心配していたので、嬉しい報告が出来て良かったです。実際に思ったことは、自己分析はとても大事だなと思いました。後輩の皆さんへ、苦しい思いをたくさんすることもありますが、諦めずに行動すれば、いつか必ず報われます。最後まで頑張ってください。



文化経済学科4年 吉川 由
(神奈川県国民健康保険団体連合会 内定)

私が就職活動を始めたのは、3年生の12月に学内で行われた集中対策講座に参加した頃です。教職課程を

履修していて、教職大学院に進学することも視野に入れていました。そのことを就職課の方に相談した結果、大学院のことも視野に入れつつ、就職活動をするにしました。今年度は新型コロナウイルスの感染が流行したこともあり、3月からの合同説明会などが中止になり、なかなか選考が予定通りに進まないなど、就活だけでなく企業側にとっても予定通りにいかないことがあったと思います。そうした中でも、感染対策を行いながら説明会や選考を行っている企業を調べ、就職課の方に相談しながら、その時できることを進めていきました。

内定を頂いた神奈川県国民健康保険団体連合会は、保険医療機関等から提出される診療報酬明細書に関する審査支払業務や、保険者から委託された各種業務を行っています。日本の社会保険制度に貢献している中で、その一員として働きたいと思志望しました。

後輩の皆さんへお伝えしたいことは、今回の新型コロナウイルス感染状況がいつ収まるのか不透明ではありますが、最後まであきらめずに自分が納得いくまで就活を続けてください。そして、周りの人にたくさん頼りながら頑張ってください。

令和2年度の就職状況について



～コロナ禍での就活戦線に挑む、奮起する就活生を支援～

令和3年卒の全国の大卒求人倍率は1.53倍(6月期)と昨年度比で0.3ポイント下回り、令和2年9月の有効求人倍率は1.03倍で昨年同月を0.54ポイント下回るなど、昨年まで続いた学生優位の「売り手市場」が新型コロナウイルス感染拡大の影響により激変しました。本学においても令和2年4月に緊急事態宣言が発出されてから学内立入禁止となり、5月にオンライン授業がスタート、春学期期間中(4～9月)学生の構内立入は原則禁止となり、感染防止対策をとりながら就活生の希望や選考状況に合わせ、個別に履歴書添削やオンラインによる面談等を進めて参りました。採用する企業側も感染者数の多い首都圏ではオンラインでセミナーや選考試験を行い、一方新潟県内企業の多くは対面との併用で実施されてきました。そのため就活生は両方の対応を強いられることになりました。また、コロナ禍で移動自粛・制限が社会に浸透し、心理的に内向きとなり、出身地に就職する学生が83%程と地元志向が更に高まったと感じています。

就活を取り巻く環境がいかに変化しても、就活対策の基本は変わりません。自己PRや志望動機などを精査して適職に就けるよう早期の取組みが大変重要です。本学では、そうした学生の就職に対する取組みをサポートする多彩な対策プログラムや個別指導を実施しています。本人の努力はもちろんですが、ご家族や地域の事業所の皆さま、関係職員からの変わらぬご支援をお願いいたします。

令和2年度就職内定状況

本学の就職内定状況 (令和3年1月末現在)

	経済学部		
	男子	女子	計
就職内定率 (%)	90.3%	92.3%	90.9%
就職内定者数	28	12	40
上場企業内定率 (%)	15.4%	10.0%	13.9%
上場企業内定者数	4	1	5
内定者数 (自営公務除く)	26	10	36
就職希望率 (%)	79.5%	100%	84.6%
就職希望者数	31	13	44
卒業予定者	39	13	52
就職内定率 (%)	93.0%	100.0%	94.7%
就職内定者数	40	14	54
上場企業内定率 (%)	10.8%	7.1%	9.8%
上場企業内定者数	4	1	5
内定者数 (自営公務除く)	37	14	51
就職希望率 (%)	95.6%	87.5%	93.4%
就職希望者数	43	14	57
卒業予定者	45	16	61

主な就職内定先 (令和3年1月末時点)

業種	内定先企業名
建設業	(株)富樫組、(株)千代田設備、(株)豆工業、(株)協同電設、ココセ AV システム、(株)国原建設、(株)大河津建設、(株)伊平板金工業所
製造業	(株)テック長沢、新潟第一酒造、(株)マルナオ、(株)ブルボン
電気・ガス熱供給・水道業	緑水工業
運輸業・郵便業	越後交通、日本交通、中越運送
卸売業	近藤産業、柏陽鋼機、柏印柏崎青果、ホンザキ阪神
小売業	コネクシオ、アークランドサカモト、(株)ハードオフコーポレーション、Lear*shop
金融業・保険業	新井信用金庫
教育・学習支援業	ITTO 個別指導学院柏崎校、(公財) 京都踏水会
医療・福祉	(福) ロングラン、神奈川国民健康保険団体連合会、(一社) 新潟県労働衛生医学協会、(株)ケンブリッジ
宿泊・飲食サービス業	(株)松屋フーズホールディングス
生活関連サービス業・娯楽業	日本中央競馬会新潟競馬場、(株) FC TIAMO
他に分類されないサービス業	ワタナベグループ、園田競馬場柏原厩舎、(宗) 正法寺、新潟総合警備保障
地方公務・国家公務	自衛官候補生 (海上)

注：外国人留学生・社会人を除く

就職内定率(%) = 就職内定者数 ÷ 就職希望者数

就職希望率(%) = 就職希望者数 ÷ 卒業予定者数

上場企業内定率(%) = 上場企業内定者数 ÷ (全内定者数 - 公務員合格者数 + 個人経営家業内定者数)



「フィールドワークを通じて」

「地域」を学ぶ「地域理解ゼミナール」について

本学では令和元年度より「地域理解ゼミナール」をスタートさせました。この授業は、「地域」に学び、地域をおこす「地域実践教育」プログラムのスタート科目です。1年生では「地域理解ゼミナールⅠ・Ⅱ」で地域活動をより理解するための6分野を、2年生では2分野に掘り下げ「地域理解ゼミナールⅢ・Ⅳ」を学びます。

開講2年目の今年度は、コロナ禍の活動制限でも感染対策を徹底し工夫をしながら、1年生・2年生それぞれで学びを深めています。1年生の授業の様子をメインで紹介いたします。

① 「地域経済政策分野」

経済のグローバル化に伴い、大都市と地方都市の格差は広がり、地方経済の衰退が深刻化しています。私たちのどのような行動が経済格差を生み出すのか、その仕組みについて考えていきます。地域活性化に必要な取り組みを「地域通貨ゲーム」の体験やフィールドワークをと



(写真：風輪通貨は米を原資としていることから、一連のコメ作り作業も学生が担います。)

おして学修します。

② 「地域企業経営分野」

経済産業省が選定した「地域未来牽引企業」である岩塚製菓、今代司酒造、アルビレックス新潟など、地域の強味を活かし国内外に事業を展開している地元優良企業を事例として取り上げ、その経営理念や経営戦略、さらには当該企業が地域経済において果たしている役割や意義について学びます。また、経営者による特別講義や企業訪問を通じて「地域企業のリアリティ」を体感することにより、「生きた経営学」への興味を喚起します。



(写真：地元企業に関する授業・見学の様子。)

③ 「地域観光・スポーツ分野」

地域観光分野では、柏崎地域の四大工ピノードや主な観光スポットを紹介すると共に、ぎおん柏崎まつり・海の大火火大会、松雲山荘&木村茶道美術館、米山さんの歴史や魅力を深掘りして、観光の



(写真上：近隣市町村の「道の駅」から下：情報発信や食&物販を学びました。柏崎市役所の「水球のまち柏崎」についてもこの分野で学びます。)

意義や重要性を学んでいます。スポーツ分野では、スポーツに関わる職業領域を理解するとともに、スポーツを中心とした経済活動について学修し、これからの産業が今後どのようにスポーツと関わりを持つて行くのかについて考えます。

④ 「地域農業・6次産業分野」

日本の農業の現状や課題を提示し、6次産業やロボット技術やICTを活用したスマート農業について事例を交えて紹介します。また、外国と日本の農業の違いを分析し日本の農業に必要な課題を考えます。地域の農業の現場でのフィール



(写真：大学近隣にある新道柿団地を見学し、名産の柿を使った地域活性化を学びました。)

⑤ 「地域文化分野」

今年度は柏崎市の現状と独自に景観条例を定めて日本遺産に認定された広島県尾道市の事例を比較し、「地域おこし」と「地域こわし」について考えました。



(写真上：綾子舞会館の展示。下：木喰展チラシ。いずれも柏崎市ホームページより。)

フィールドワークでは綾子舞会館と市立博物館の木喰展を訪れました。

⑥ 「コミュニティ・まちづくり分野」

行政まかせではなく、地域の人々や若者世代が主体的に「まちづくり」を実践するための知識や技能を修得し、アクションを起こすための第一歩を学びます。柏崎市中心市街地のまちあるきや、地域の魅力発見のためのワークショップ、「かしわぎき市民活動センター」まちから「訪問などを通じて、「まちづくり」と「コミュニティ」の重要性を体験的に学修します。



(写真上：柏崎市中心市街地散策の様子・下：コミュニティ施設「まちから」で中越沖地震の際のコミュニティの役割について学びました。)

この授業のアンケートでは、フィールドワークが地域理解に役立ったという感想が大半でした。新潟産業大学では、大学の授業全体で地域活性化活動に取り組んでいきたいと思えます。本学の学生・教職員との「地域連携」をご希望される場合は、ぜひご相談ください。

「お問い合わせ先」

新潟産業大学地域連携センター事務局

Tel.: 0257 (24) 8441

e-mail: renkei@ada.nsu.ac.jp

「生涯学習友の会のご案内」

本学では、生涯学習活動にも取り組んでいます。「生涯学習友の会」は、本学の生涯学習事業を支援し、美り多い生涯学習の実現を図るとともに会員相互の親睦を深めることを目的としています。毎年4月のはじめに入会を募集しておりますので、ご興味のある方はぜひお申込みください。

年会費 二千円

※聴講講座受講料が1科目二千円引き

(通常1科目15週で一万円)

留学生が2020年度留学生懸賞文で表彰されました

12月18日(金)に令和2年度留学生懸賞文(主催:柏崎中央ロータリークラブ)の表彰式が行われ、本学から応募した9名の留学生の内、4名が優秀賞、佳作、努力賞を受賞しました。

【優秀賞】

「愛する町ー柏崎」

趙凝(チヨウニン)

(経済学部3年・中国)

【佳作】

「あなたが笑顔で過ごせますように」

スガリガルグ バヤルマー

(経済学部3年・モンゴル)

【努力賞】

「中国山東省と日本新潟県の酒文化の紹介と交流発展の提案について」

姜尚昆(キョウ ショウコン)

(経済学部1年・中国)

「インドネシアと日本を結ぶ道」

ムハンマドアブドルカリムモントナロ

(経済学部1年・インドネシア)

他、参加賞5名



【表彰式後記念撮影】

今回で18回目を数える今年も、「懸賞文コンテスト」として本学と新潟工科大学の留学生を対象に応募を募った結果、両大学合わせて12名が応募しました。優秀賞を受賞した趙凝さんは、「この度優秀賞を頂くことができ、ありがとうございます。この作文は私が長い日本生活の中で、魅力的な町、柏崎で体験した事と感じた事を書いたものです。今回の受賞を励みとし、来年もより良い作文が書けますように日々努力していきたいと考えています。」と感想を述べました。実際に日本(柏崎)で生活している留学生ならではの視点から、地域の現状を把握したうえで問題を提起し、その解決案を考察し、母国と日本の文化を比較しながら国

際交流の取り組みについて提案するなど、普段気づかない、地域の新たな問題点や魅力を再認識できた良い機会となりました。

留学生が刈羽小学校の国際セミナーに参加しました

本学には留学生が170人程在籍し、毎年地域の様々なイベントに参加しています。今年は、コロナ禍ということもあり、ほぼ交流活動ができませんでした。

その中で、刈羽村立刈羽小学校からの依頼を受け、11月24日(火)「国際セミナー」に本学留学生10名が参加しました。この企画は、毎年小学生との異文化交流を深める留学生に大人気のイベントです。

ゲストティーチャータイムの母国の紹介では、日本とは異なる文化の紹介に子供たちからは驚きの声や質問が飛び交っていました。また、異文化の遊びに加えてフルーツバスケットなど日本の遊びも取り入れ、さらに楽しく異文化交流をすることができ、子どもたちだけでなく、留学生にとっても有意義な時間となりました。初めて参加したムハンマド アブドル カリム モントナロさん(インドネシア)は、「子供達の元気な姿をみて心が癒されました。子供達は未来を担う希望であり、子供たちのために優しい社会を作っていくためにも私はもっと頑張りたいと思いました。また機会があれば、

国際交流活動に参加したいと思います。」同じく初めて参加した、ソガル オウン チメグさん(モンゴル)は、「初めての参加で緊張しましたが、小学校1年生の積極的なパワーに元気をたくさんもらいました。後半のフルーツバスケットというゲームを通して楽しく交流ができて有意義な一日を過ごしました。皆さんありがとうございました。コロナに負けず、元気に過ごしてください。」と感想を述べていました。本学は、今後もさまざまな機会に於いて多文化共生社会に向け、地域の皆様と協働し国際理解活動を展開して参りたいと考えております。変わらぬお力添えいただきませすようお願い申し上げます。



【1年生 ベトナム紹介】



【4年生 モンゴル紹介】



【1年生 インドネシア紹介】



【国際セミナー終了後】

INFORMATION

春の特別オープンキャンパスを開催します

【開催日】 令和3年3月20日(土)



内
容

- 学部・学科概要説明
- 入試・奨学制度概要説明
- キャンパスツアー
- 在学生との個別相談など

※4月以降のオープンキャンパス情報の詳細は本学ホームページをご覧ください。

新潟産業大学

検索

出張講義案内

新潟産業大学では、本学教員が高等学校に出向いて講義を行う「出張講義」に積極的に対応しております。大学の専門分野を高校生向けに分かりやすく講義することにより、大学の「学び」を感じ取っていただくことができます。

大学進学を意識付けとして、また進路選択の一環として、幅広くご利用ください。

出張講義・オープンキャンパスのお申し込みとお問い合わせ ☎0120-787-124 (入試・広報課直通)

学事日程 (令和3年4月～9月)

月	日	行 事 等	月	日	行 事 等
4月	3日(土)	入学式	7月	19日(月)	祝日授業日
	5日(月)・6日(火)	ガイダンス・健康診断		28日(水)・29日(木)	補講日
	7日(水)	春学期授業開始		30日(金)～8月5日(木)	春学期定期試験期間
	7日(水)～13日(火)	履修登録期間	8月	6日(金)	試験予備日
5月		7日(土)		学生夏季休業開始	
6月	2日(水)	創立記念日	10日(火)・11日(水)	追試験	
	12日(土)	個別面談・父母の会総会(予定)	16日(月)～27日(金)	集中講義期間	
9月			2日(木)	秋学期卒業生発表	
	9日(木)		9日(木)	再試験による秋学期卒業生発表	
	17日(金)		17日(金)	成績表配付・授業開始	
	17日(金)～30日(木)		17日(金)～30日(木)	履修登録期間	
	30日(木)		30日(木)	9月卒業式	



表紙の写真「水源」

この写真は、本学写真部のベトナム人留学生で、文化経済学科4年のゲン ヴァンヴィさんの作品です。

「JR柏崎駅から西へ1.5km、市民の憩いの場である赤坂山公園で、カメラにフィルターを付けて撮影しました。この時は雨が止んだばかりで、ちょうど良い明るさがあり、小さな滝の周りには赤や黄色など様々な色の落ち葉が綺麗に地面を飾っていました。遠くから鳥の鳴き声が聞こえてきて、小滝と紅葉の景色に美しい日本の自然を感じ、心を動かされ50枚以上撮影した中の一枚です。」とコメントを寄せてくれました。

新潟産業大学基金 ご支援のお願い

新潟産業大学では、教育研究活動全般の充実・発展を図るため、広くご寄付をお願いしております。いただきましたご寄付は、「地域社会や企業を主体的に支える人材の育成」という本学の教育理念の達成のために活用させていただきます。

何卒、皆様の格別のご支援をお願い申し上げます。

(担当窓口 新潟産業大学 総務課 Tel.0257-24-6655 Mail:soumu@ada.nsu.ac.jp)



青海波 (せいがいは)

無限に広がる穏やかな波に未来永劫と平和な暮らしへの願いが込められた文様。

この文様の由来は遠くシルクロードまで遡るとされており、これを本学の校章(3つの波)に重ね合わせ、地域を知り世界を知ることの象徴として、本学の情報発信媒体である学報の名称に採用しました。

● 発行 日/令和3年2月

● 編集・発行/新潟産業大学 新潟県柏崎市軽井川4730番地

TEL0257-24-6655 FAX0257-22-1300 <https://www.nsu.ac.jp/>